

第5回系統別（運転・車掌）意見交換会開催！



4月12日（月）本部会議室において、第5回系統別（運転・車掌）意見交換会を行い、20名を超える仲間が参加しました。当日はJR東労組本部より長谷業務担当部長に参加していただき、活発な意見交換を行いました。

●21春闘の総括と夏季手当要求に向けて

定期昇給（昇給係数「2」）について、多くの参加者から悔しさや会社に対する怒りの声が出されました。また長谷業務担当部長より当時の想いや苦闘、交渉内容について語っていただき、雇用と生活を守るためにはJR東労組が必要であることを共有しました。その後、夏季手当の要求に向けて議論を深めました。現状では厳しい結果が待ち受けていること、労働条件の維持・向上ためには組織強化・拡大を実現し、組織力を高めていくことが必要であることを参加者全員で確認しました。

●職場活動の強化に向けて

2021年4月にJR東労組本部が発行した職場討議資料の読み合わせを行い、各種施策や不当労働行為など各職場で現れている事象について意見交換を行いました。ジョブローテーションについて会社は通常の異動と称して進めている実態がありますが、JR東労組は団体交渉で議論し、「施策のポイントは納得感である」「任用の基準に留まらず、本人希望を把握する」などを確認し、議事録確認を締結していることを改めて一致しました。職場環境や経営環境が変わろうとも、安全が前提であることを一致し、職場から安全議論をつくり出す必要性を議論しました。

最後に組織強化・拡大について議論を深めました。定期昇給を知らない未加入者に定期昇給の意味や春闘を行う必要性を訴えたこと。現場長から「ストライキを武器にする組織をどう思うか？」と言われた未加入者に対し、18春闘の時系列とJR東労組が大敗北総括をしたこと。一部組織破壊者と決別してきた真実を伝えてきた報告がありました。意見交換会で学んだことを参加者が青年部員や未加入者に伝えていき、組織強化・拡大につなげていくことを確認しました。

JR東労組青年部は施策にしっかり向き合い、若手の加入・再加入を目指していきます！

